

Catch Your Dreams!

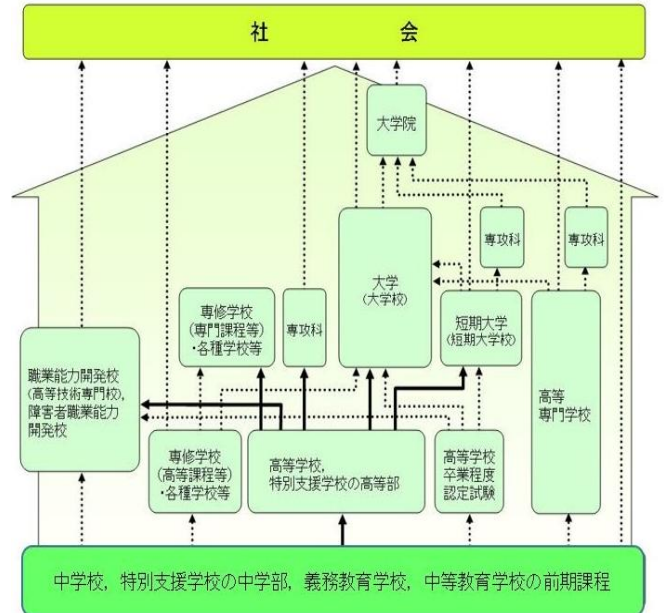


呉市立蒲刈中学校
令和7年5月13日
第2号

第1回進路説明会

4月26日（土）に、3年生生徒と希望された保護者の方を対象に、第1回進路説明会を行いました。その中でも説明しましたが、右の図のように中学校を卒業して社会に出るまでには、一人一人の個性に合わせた多彩な選択が用意されています。

また、公立高校への進学については、令和4年度（現在の高校3年生）から制度が変わりました。出願方法も、最近では紙媒体の願書を提出するのではなく、インターネット出願になっています。また、入試内容も大きく変更され、いわゆる推薦入試がなくなり、一般入試に自己表現といった新たな選抜方法が取り入れられています。一方で、中学校を卒業するまでに身に付けておきたい力が次のように求められています。



（「ホットライン教育ひろしま」より）

広島県の15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力

自己を認識する力

自分は何が好きなのか、自分はどのような人間なのか、など自分自身を理解することができる力

自分の人生を選択する力

自分の将来の夢や目標、自分がやりたいことなどについて、自分で考え、選択し、自分の意志で決めることができる力

表現する力

自分自身のこと、自分の考えや思いを、相手に理解してもらえるように工夫しながら伝えることができる力

（広島県教育委員会「くりっぷ 77号」より）

蒲刈中学校でも日々の教育活動において、このことを意識しながら取組を進めています。それでは、広島県公立高等学校の入学者選抜制度の変更点について少し紹介します。

令和4年度から変更した4つのポイント

① 主体的に志望校を選択

受検生がより一層主体的に志望校を選べるように、全ての高等学校で入学者選抜実施内容シートを作成している。教育目標や入学者受入方針、実施内容（実施する検査の項目や配点）などを事前に公表。

② 調査書の簡素化

受検生が通う中学校の校長が作成する調査書に記載する内容は、選抜に必要な項目（志望校・氏名・性別・学習の記録（評定））のみ。

③ 入学者選抜に係る期間を短縮

「選抜（Ⅰ）・（Ⅱ）・（Ⅲ）」を「一次選抜・二次選抜」の2回に。なお「一次選抜」は、「一般枠による選抜」と、学校・学科の特色に応じて実施する「特色枠による選抜」の2通り。

④ 受検生全員に「自己表現」を実施

「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力」が、どのくらい身に付いているかをみるために実施。

選抜の方法と配点の比重

配点の比重

学力検査	調査書	自己表現
6	2	2

次の内容は、全ての学校・学科で実施する

「一次選抜」の「一般枠による選抜」のものです。「特色枠による選抜」の内容は、学校・学科ごとに異なるので、必ず「入学者選抜実施内容シート」で確認してください。

① 学力検査

- ・ 配点は、国語・社会・数学・理科・外国語（英語）の5教科×50点
- ・ 特定の教科の配点を他の教科より高くする**傾斜配点**を実施する学校もあり

② 調査書

- ・ 中学校の校長が作成し、受検する高等学校へ提出
- ・ 中学校3年間の「学習の記録」は、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語の9教科を**5段階**で評定
- ・ 「学習の記録」の学年間の比重は、**第1学年：第2学年：第3学年＝1：1：3**

③ 自己表現

- ・ 自分自身のこと（得意なことやこれまで取り組んできたことなど）や高等学校に入学した後の目標などについて、自分で選んだ言葉や方法で表現（**面談方式**で実施）

④ 独自検査

- ・ 学科やコースによっては、特色に応じて実技検査や作文などの独自検査を実施する場合あり

先輩からのメッセージ

先日、卒業した先輩が中学校に顔を出してくれました。高等学校の制服を着こなし、「高校生の顔」になっていました。高校生活について聞いてみると、「友達もできて、楽しい！」と言っていました。帰る前に後輩のみなさんへのメッセージを書いてもらいました。

